



©2005 石塚真一/小学館

第 301 号(令和5年(2023 年)6月8日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

5 月 4 週は、1 件の山岳遭難が発生しました。岩場を通過中につかんだ岩が剥がれて滑落したものです。

登山では、登山道を歩くだけでなく、場所によっては岩場やはしご・鎖場を通過する場面もあります。このような場面では、つかんだ場所や足を置いた場所が必ずしも安全とは限りません。つかんだ岩が「動くかもしれない」、はしごや鎖が「緩んでいるかもしれない」と危険を予測した行動をとることによって、遭難のリスクを減らすことができます。

また、登山経験が浅い登山者による遭難が増えています。登山初心者でも年齢が若い方であれば、ある程度体力でカバーできてしまうことがあるかと思いますが、登山の知識や経験は、山を歩かなければ身につけることができません。

山域選びでは、体力だけを基準にすることなく、自身の登山経験や技術に見合った山域を選び、余裕を持った計画を立てましょう。

登山や山菜採りを計画されている方は、必ず事前に天気予報を確認しましょう。

悪天候の中での行動は、様々なリスクをもたらし、悪天候が続くとその場で停滞せざるを得ない場合もありますので、事前の天気予報で悪天候が予想される場合は、計画を中止や延期することも必要な判断です。

6 月 1 週は、6 件の山岳遭難が発生しました。うち 2 件は、山菜採りや溪流釣りに出かけたまま行方不明となっています。その他、残雪が起因する山岳遭難も発生しています。

梅雨入りした地域があることや気温が高い日が続いているので、いまだ雪が残っているとは想像しにくいことかも知れませんが、信州の標高が高い山々には、夏になっても登山道の上に雪が残る箇所があり、滑落や道迷いのリスクが伴います。今の時期は、アイゼンやピッケルの携行を迷うところですが、登山計画の際には、必ず最新の登山道情報を確認し、少しでも不安がある場合には装備品を見直しましょう。また、自身や仲間の技量に見合った山域を選び、決して無理をしない登山をお願いします。

残雪は、雪が締まり硬いために滑りやすいです。アイゼンやピッケルを装着するのが面倒で、持っているにもかかわらず何も装着しないまま、残雪ルート上でスリップして滑落する遭難や、残雪によりルートが不明瞭で沢筋に迷い込むといった道迷い遭難が多く発生しています。残雪対策をしっかりしましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
5月27日	八ヶ岳連峰 東天狗岳	女	22	負傷	滑落	2人パーティで東天狗岳に向けて登山中、滑落、負傷
<p>27日、2人パーティで、八ヶ岳連峰東天狗岳に入山した女性(22歳)が、登山中、岩場において掴んだ岩が剥がれ、滑落して負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。</p>						
6月1日	北アルプス 爺ヶ岳	男	36	負傷	滑落	単独 で爺ヶ岳に向けて柏原新道を登山中、スリップし、滑落、負傷
<p>1日、単独で、爺ヶ岳へ向けて登山中の男性(36歳)が、スリップして滑落し負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。</p>						
6月1日	下高井郡 山ノ内町大字 平穏地籍の山林 内	男	94	行方不明	不明	4人パーティで 山菜採り 中、行方不明
<p>1日、下高井郡山ノ内町大字平穏地籍の山林において、仲間3名と山菜取りのため入山した男性(94歳)が山中で仲間とはぐれて行方不明となっており、中野署、県警山岳救助隊及び志賀高原地区山岳遭難防止対策協会北志賀班が捜索を実施しています。</p>						
6月4日	八ヶ岳連峰 蓼科山	女	54	負傷	転倒	単独 で蓼科山から下山中、バランスを崩し、転倒、負傷
<p>4日、単独で八ヶ岳連峰蓼科山に入山し、山頂から下山中の女性(54歳)が、岩場でバランスを崩し、転倒して足をひねって負傷する山岳遭難が発生し、県消防防災ヘリで救助しました。</p>						
6月4日	御嶽山	女	43	無事救出	道迷い	2人パーティで三ノ池方面に下山中、ルートを誤って道に迷い、行動不能
		女	45	無事救出	道迷い	

4日、2人パーティで御嶽山に入山した女性2名(43歳、45歳)が三ノ池方面に下山中、ルートを誤って道に迷い、行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。



6月4日	奥穂高岳	女	42	負傷	滑落	4名パーティで奥穂高岳から下山中、滑落、負傷
------	------	---	----	----	----	------------------------

4日、4人パーティで奥穂高岳ザイテングラートを下山中の女性(42歳)が滑落し負傷する山岳遭難が発生し、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して、県警へりで救助しました。

6月4日	北安曇郡 松川村 乳川上流	男	70	行方不明	不明	単独で乳川へ溪流釣りに出かけたまま、行方不明
------	---------------------	---	----	------	----	------------------------

4日、単独で松川村乳川に溪流釣りに出掛けた男性(70歳)が帰宅しない山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊員が、捜索を実施しています。

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日~6月4日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	86	12	5	45	40	102	62
内)単独登山	33	4	2	13	14	33	19
内)山菜採り	2		1	1		2	2
令和4年(2022年)	68	12	1	32	34	79	45
前年同期比	+18	±0	+4	+13	+6	+23	+17
内)単独登山	+10	+1	+1	+7	+1	+10	+9
内)山菜採り	+1	-1	+1	+1	±0	+1	+1

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～6月4日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	12	14.0%	4	0	5	5	14
	後立山	14	16.3%	3	2	11	3	19
	その他	8	9.3%	1	0	2	5	8
	計	34	39.5%	8	2	18	13	41
中央アルプス	6	7.0%	0	0	5	4	9	
南アルプス	2	2.3%	1	0	0	2	3	
八ヶ岳連峰	22	25.6%	2	0	12	11	25	
その他の山岳	22	25.6%	1	3	10	10	24	
計	86		12	5	45	40	102	

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～6月4日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	32	37.2%	6	0	28	0	34
転倒	13	15.1%	0	0	13	0	13
病気	4	4.7%	1	0	0	3	4
道迷い	12	14.0%	0	0	0	15	15
落石	2	2.3%	1	0	1	0	2
雪崩	3	3.5%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	6	7.0%	1	0	0	8	9
不明・他	14	16.3%	0	5	1	13	19
計	86		12	5	45	40	102

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～6月4日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	0	0	28 36.8%	0	0	0	1	1	9 34.6%	1	37 36.3%
20代	0	0	5	8	13		0	0	3	2	5		18	
30代	3	2	7	3	15		1	0	0	2	3		18	
40代	2	1	4	6	13	26 34.2%	0	0	3	3	6	12 46.2%	19	38 37.3%
50代	3	0	7	3	13		0	0	4	2	6		19	
60代	1	0	7	6	14	22 28.9%	0	0	1	1	2	5 19.2%	16	27 26.5%
70以上	2	2	2	2	8		0	0	2	1	3		11	
計	11	5	32	28	76		1	0	13	12	26		102	
比率	74.5%						25.5%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jpまでお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝